



Broadmedia



JASDAQ

平成 30 年 6 月 28 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号
会社名 ブロードメディア株式会社
(コード番号: 4347)
代表者 代表取締役社長 橋本 太郎
問合せ先 取締役 押尾 英明
経営管理本部長
電話番号 03-6439-3983

連結子会社の架空取引被害に関わる当社連結決算への影響について

当社は、平成 30 年 5 月 23 日に発表した「第三者委員会の調査報告受領及び平成 30 年 3 月期決算発表日に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社である株式会社釣りビジョン（以下、釣りビジョン）における架空取引被害に関する調査を完了させております。

また平成 30 年 6 月 12 日に発表した「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の監査に関するお知らせ」に記載のとおり、平成 27 年 3 月期以前の訂正報告書について、当該期間を監査いただいております。前任監査法人に受嘱いただくことが決まり、現在監査手続きを進めていただいております。

しかしながら、平成 30 年 6 月 28 日発表の「平成 30 年 3 月期有価証券報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ」に記載のとおり、有価証券報告書の提出につきましては、監査手続きに時間が掛かる見込みであることから、期限までに提出が出来ない見込みとなったため、延長申請をすることといたしました。

また、本件架空取引の結果発生した損失について平成 30 年 3 月期第 3 四半期に一括して貸倒引当金を計上していた会計処理方法について、前任監査法人より変更すべきである旨の指摘を受け、前任監査法人・現任監査法人と協議した結果、過年度の各期に期末の未収入金に対して貸倒引当金を計上する会計処理方法に変更することにいたしました。

そのため、当該架空取引の当社連結決算への過年度への影響額について、平成 30 年 4 月 13 日に発表した「連結子会社の架空取引被害に関わる調査状況のお知らせ」において発表しておりましたが、その影響額が過去に遡って変更されることとなりました。また、平成 30 年 4 月 13 日に発表した「平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算短信」および、平成 30 年 5 月 30 日に発表した「平成 30 年 3 月期決算短信」につきましても修正が発生する見込みとなりました。

かかる事態は誠に遺憾であり、関係の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 以前に発表した架空取引の財務諸表への影響等について

平成30年4月13日に発表した「連結子会社の架空取引被害に関わる調査状況のお知らせ」に記載の影響額に係る仕訳につきましては以下のとおりでした。

<過去の損益計算書>

- ①架空取引に該当する取引を、売上・原価を計上できる商取引ではなかったと認識して、損益計算書上の当該売上・原価を取り消す処理を行っております。
⇒結果として各期の売上高・原価・営業利益が減少しております。
- ②架空取引に該当する取引を、全て消費税対象取引と認識していたため、受取消費税と支払消費税との差額を納税しておりましたが、これらは過大な支払いであったと認識しております。
⇒当該過払い認識額を、還付されないものとして各期で租税公課として費用計上したことで、販管費が増加し営業利益以下が減少しております。
- ③法人税については、過去に遡っての課税額訂正は受けられないものとして、会計上の訂正処理は行っておりません。
⇒上記①②の処理で会計上の利益額は減少しておりますが、法人税の額は変動しておりません。
- ④上記①②の処理の結果、釣りビジョンの純資産額が減少したため、釣りビジョンの株式に係るのれんの額が増加しております。
⇒結果として、営業利益が減少しております。

<過去の貸借対照表>

- ①各期末において、架空取引に該当する取引に関する、貸借対照表上のクライアントに対しての売掛金は取り消されております。
(業務委託先に対しては当月支払をしていたため、買掛金は各期末において存在しておりません)
- ②代わりに、架空取引に該当する取引に関して、その時点までに税込で業務委託先に支払った額と、クライアント(と認識できる先)からの税込で入金された額の差額を業務委託先に対する未収入金に変更しております。

2. 今回変更される会計処理とその影響について

上記<過去の貸借対照表>の②の処理の結果、平成30年3月期第3四半期末時点で計上されていた未収入金541百万円に対して、本件架空取引を認識した平成30年3月期第3四半期に貸倒引当金繰入額として特別損失を計上しております。

しかしながら、前任監査法人・現任監査法人との協議の結果、当該貸倒引当金繰入額を平成30年3月期第3四半期に一括で計上するのではなく、過去に遡り、未収入金が計上される都度、貸倒引当金繰入額を計上することとなりました。その結果、過年度において特別損失を計上するた

め、前回発表時に比べ、過年度の当期純利益及び純資産が減少しております。また、釣りビジョンの純資産額が過去に遡って減少するため、のれんの額が増加し、前回発表時に比べ、過年度の営業損益も若干減少いたします。

その一方で、平成 30 年 3 月期につきましては、前述のとおり、当該期に計上していた貸倒引当金繰入額 541 百万円を過年度において計上することになった結果、特別損失が無くなり、親会社株主に帰属する当期純利益を計上する見込みとなりました。

更に、2015 年 3 月期に当社は釣りビジョン株式の一部を売却しておりますが、売却先との間で売買価額を合意する際に前提とした、株式価値算定には本件架空取引による収益も含まれておりました。そのため今後、当該売却先との間において、本件架空取引による影響を考慮した株式価値の再算定、及び株式売買価額の事後減額等が発生する可能性があるため、2015 年 3 月期に特別利益として計上していた株式売却益を減少させる訂正を行うこととなりました。

現時点において過年度及び平成 30 年 3 月期までの当社連結損益計算書等の主な項目に与える影響額は下記のとおりとなる見込みです。

なお、当該期間の財務諸表に対する監査手続きは未了であるため、下記見込みは最終的に変動する可能性があります。

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前	今回 訂正後	訂正前 との差額	影響率
第 13 期 2009 年 3 月期 通期	売上高	11,714	11,686	△ 28	△0.24%
	営業利益	△ 393	△ 394	△ 1	—
	経常利益	△ 1,067	△ 1,068	△ 1	—
	当期純利益	△ 904	△ 905	△ 0	—
	純資産	5,270	5,256	△ 14	△0.27%
	総資産	8,118	8,104	△ 14	△0.17%
第 14 期 2010 年 3 月期 通期	売上高	10,527	10,389	△ 138	△1.31%
	営業利益	558	551	△ 7	△1.25%
	経常利益	611	603	△ 7	△1.15%
	当期純利益	1,174	1,160	△ 13	△1.11%
	純資産	6,728	6,691	△ 37	△0.55%
	総資産	9,325	9,287	△ 37	△0.40%
第 15 期 2011 年 3 月期 通期	売上高	13,927	13,550	△ 377	△2.71%
	営業利益	860	837	△ 22	△2.56%
	経常利益	829	807	△ 22	△2.65%
	当期純利益	450	399	△ 51	△11.33%
	純資産	6,771	6,656	△ 115	△1.70%
	総資産	9,676	9,561	△ 115	△1.19%

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前	今回 訂正後	訂正前 との差額	影響率
第 16 期 2012 年 3 月期 通期	売上高	12,485	11,872	△ 612	△4.90%
	営業利益	803	771	△ 32	△3.99%
	経常利益	800	767	△ 32	△4.00%
	当期純利益	479	416	△ 62	△12.94%
	純資産	7,469	7,256	△ 212	△2.84%
	総資産	11,811	11,598	△ 212	△1.79%
第 17 期 2013 年 3 月期 通期	売上高	12,968	12,124	△ 844	△6.51%
	営業利益	166	121	△ 45	△27.11%
	経常利益	△ 215	△ 260	△ 45	—
	当期純利益	△ 424	△ 512	△ 87	—
	純資産	6,930	6,581	△ 349	△5.04%
	総資産	12,529	12,180	△ 349	△2.79%
第 18 期 2014 年 3 月期 通期	売上高	12,301	11,114	△ 1,187	△9.65%
	営業利益	△ 618	△ 682	△ 63	—
	経常利益	△ 1,134	△ 1,197	△ 63	—
	当期純利益	△ 777	△ 866	△ 88	—
	純資産	6,117	5,631	△ 486	△7.95%
	総資産	11,099	10,612	△ 486	△4.38%
第 19 期 2015 年 3 月期 通期	売上高	11,918	10,272	△ 1,646	△13.81%
	営業利益	△ 1,147	△ 1,236	△ 89	—
	経常利益	△ 2,358	△ 2,448	△ 89	—
	当期純利益	△ 2,580	△ 2,821	△ 241	—
	純資産	4,444	3,556	△ 888	△19.98%
	総資産	8,978	8,304	△ 674	△7.51%
第 20 期 2016 年 3 月期 通期	売上高	12,117	9,955	△ 2,162	△17.84%
	営業利益	71	△ 47	△ 118	—
	経常利益	△ 198	△ 317	△ 118	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△1,082	△ 1,175	△92	—
	純資産	3,509	2,441	△ 1,068	△30.44%
	総資産	7,591	6,737	△ 854	△11.25%

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前	今回 訂正後	訂正前 との差額	影響率
第 21 期 2017 年 3 月期 通期	売上高	13,158	10,413	△ 2,744	△20.85%
	営業利益	187	37	△ 149	△79.68%
	経常利益	134	△ 15	△ 149	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△ 350	△ 457	△ 106	—
	純資産	2,942	1,666	△ 1,276	△43.37%
	総資産	7,800	6,737	△ 1,062	△13.62%
第 22 期 2018 年 3 月期 通期	売上高	10,800	10,800	0	0.00%
	営業利益	86	85	△ 1	△1.16%
	経常利益	79	78	△ 1	△1.27%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△ 232	43	275	—
	純資産	2,884	2,672	△ 211	△7.32%
	総資産	6,540	6,542	2	0.03%

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉 ブロードメディア株式会社 IR 担当 TEL. 03-6439-3983